



青空に舞い上がれ!!

1月17日(日)、松阪市総合運動公園の芝生広場で凧揚げ大会が開催されました。心配されていた天気も晴天となり、約100名の参加者がありました。

12月の『凧作り』で作った凧で凧揚げに挑みましたが、最初は殆ど風も吹かず、みんな四苦八苦していました。そんな風も、サークルUの皆さんが朝早くから作ってくださった白玉ぜんざいで暖を取っていた間に少しずつ強くなり、大空に舞い上

平成28年2月1日  
掬水まちづくり協議会  
115号



がった凧は空の青さに映え、冬の景色に彩りを添えていました。参加者の中には、(昔取った杵柄)でお孫さんのために張り切って凧を揚げている人や、協議会が用意したキットで凧を作ってくれるおとうさんやおじいさん、地域の人...そしてその様子を目を輝かせて見ている子ども達。又、凧を少しでも高く揚げようと元気に駆け回っている子ども達の姿と、それを温かく見守る大人達...世代を超えて楽しく過ごせたこともこの会ならではの事でしょう。

|          |  |
|----------|--|
| 二月・三月の行事 | 教育講演会「子どもを理解する為に」<br>2月28日(日) 10:00 ~11:30<br>榊田地区市民センター 1階ホール           |
|          | 健康講座「ここが知りたい目の病気<br>~白内障とは~」<br>3月3日(木) 13:30 ~15:00<br>榊田地区市民センター 1階ホール |
|          | クロリティー大会 (校区老人会)<br>3月8日(火) 13:30 ~16:00<br>榊田地区市民センター 1階ホール             |
|          |  |



教育講演会『子どもを理解する為に』

◎日時 2月28日(日) 10:00~11:30  
◎場所 榊田地区市民センター 1階ホール  
◎講師 村居忠一氏(松阪市教育委員会社会教育委員)

※参加費は無料 (筆記用具等は各自ご用意下さい。)  
※駐車場は公民館・小学校・幼稚園の駐車場をご利用下さい。  
※事前申し込みは不要です。

掬水まちづくり協議会  
役員・部員公募します

任期満了に伴い退任する役員の後任、並びに各部会の事業、活動、行事の活性化と充実を図る為の部員を次の要領で募集致します。自薦・他薦を問いません。「元気で 仲良く 楽しいまち」を皆で創るために、皆様からの応募をお待ちしております。宜しくお願い致します。

- 副会長
  - \*募集人数 3名
  - \*役割
    - ・協議会会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
    - ・部会を分担して担当し、事業、活動、行事の推進に当たる。
- \*任期
  - ・一期2年で通算三期まで
- \*報酬 無報酬
- 事務局長
  - (書記・会計・広報兼務)
  - \*募集人数 1名
  - \*役割
    - ・協議会の運営全般
    - ・予算管理
    - ・広報
- (パソコン操作必須)

- \*任期
  - ・一期2年で通算三期まで
- \*手当、勤務時間等
  - ・年間60万円を上限として支給
  - ・勤務時間は週20時間を原則とするが、協議会運営に当たり必要な場合は延長する(詳細は面接時に説明します)
- 各部 部員
  - \*募集人員 各部2~4名
  - \*役割
    - ・「地域振興部」「体育部」「健康福祉部」「安全防災部」「教育文化部」「環境美化部」「将来計画実施部」の各部の事業、活動、行事の活性化、充実を図る(各部の内容は面接時に説明します)
- \*任期
  - ・一期2年で再任は妨げない。
- \*報酬 無報酬

お問い合わせ、応募などは  
掬水まちづくり協議会  
(28-2675)  
・葉山  
(090-3445-9638)  
迄一報ください。  
直ちに説明に参ります。



「三角亭物語」(四)

角田 夏夫著

二、蘭 汀(その2)

明和七年(一七七〇)六十八歳のとき、江戸に行き九ヶ月滞在して帰国している。

安永元年(一七七二)鎗役次詰となり、同三年、多くの書籍と兵器を蔵しているというので、中の間詰に進んだ。

以上のくだりを、「寿碣銘」は次のように記している。

明和七年、東に下り柳邸に留まること九ヶ月、安永元年掌鎖の右に班す。學術を褒する也。

安永三年中斤に転ず。書万卷、家丁三十員の機械とを蓄うるを賞する也。

安永五年、老を告ぐ。

安永五年(一七七六)七十四歳で職を辞した。その職は長子士元が継いだ。

士亨には特に養老俸十人扶持が給され、父子隔日に登城を命ぜられたという恩遇であった。

この士亨、藤堂藩々主、高治、高朗、高悠、高嶽の四代に歴任し、経書を講じ、史書を校した。禄高は高くはなかったが、厚い寵遇は他に類なく、職を辞しても、藩主は彼を先生と呼び、決して名は呼ばなかったという。

奥田蘭汀、安永八年(一七七九)、七十七歳のとき、「寿碣」を作り、自らその銘を選んだ。『田間に起り、中斤の直に升る。何を以て之を得る。稽古の力。』古希の祝に際し、藩主より「南山」の号を賜っている。

彼が没したのは、これから四年後の、天明三年(一七八三)五月四日であり、年八十一歳であった。五十年來の門生八百を超え、時未だ百数が在ったという。

なきがらは、豊原枕山の父の墓の側にあらかじめ建てておいた墓碣のもとに葬られたのである。

さて、ここに一人の儒学者が八十一年の生涯を終わった。彼は没したが、数多くの詩文が今に残されている。これによって、奥田蘭汀なる人物の側面を知ることができよう。

原文は漢文なので平易に解説し、それとなく晩年の心境に接してみたいと思う。

つづく



青パト隊講習会

1月12日(火)、掃水自主防犯パトロール隊(青パト)を対象に定期講習会が行われました。

この講習は、2年に一度青パトの隊員が更新時に受けるもので、最近の犯罪状況や、防犯パトロール活動の心構え、青パト運用上の留意事項等について松阪警察署が講習をしました。

62名の隊員のうち対象の32名が受講しパトロール実施者証の更新をしました。

青パト隊の皆さん、地域の安全のための一層の活躍を期待します。



知っていますか?!

マックスバリュ中部株式会社

では社会貢献活動の一環として『幸せの黄色いレシートキャンペーン』に取り組んでいます。

これは、毎月11日を『イオン・デー』として、『イオン・デー』当日に買い物をした人のレシート(黄色いレシート)を、地域で社会貢献活動等に取り組んでいるボランティア団体の投函ボックスに投函してもらい、そのレシート金額の1%を、その団体に希望する商品で還元される・・・というシステムになっています。

掃水まちづくり協議会は、マックスバリュ松阪中央店で登録をしており、還元額はゴミ袋やティッシュなどに変え、各行事の参加賞等に活用させていただいております。今までの還元額は

- 24年は27,300円
- 25年は13,300円
- 26年は14,300円
- 27年は10,900円

年々減少しているのが現実です。地域の財源を少しでも潤えるよう、是非地域の皆様のご協力をお願いいたします。



校区老人会 クロリティー大会

～童心にかえり、輪投げを楽しんでみませんか?～

開催日時 3月8日(火) 13:30~16:00

(受付 13:00)

開催場所 榊田市民センター 1階ホール

※申込み 各老人会支部長さん迄(2月15日(月)迄)

ここが知りたい目の病気 ~白内障とは~

日時 3月3日(木) 13:30~15:00

(受付13:00~)

場所 榊田地区市民センター 1階ホール

講師 カイバナ眼科クリニック院長 上住尚志氏

\*定員 40名 \*〆切 2月25日(木)

\*受付 榊田地区市民センター ☎28-2675